

短歌・俳句で綴る

御代田の四季

「短歌の会」と「御代田風の道俳句会」から寄せられた代表作品です。

短歌

葉月とふすがしき名をもつ八月を怠惰に横たふ残暑の真昼

吉田 倉子

散りてなほ色の鮮やかなのうぜんかづら笑み絶やさざりし母の面影

桑原アヤ子

粒粒と唐きび食みてつぶつぶと遠き恋など想ふ晩夏

大池 講子

俳句

当期雑詠

秋霖や露切峡の露の嵩

松浦 靖子

すすきにも器量不器量匂ひなく

足立 淳

秋雨に山々雲に沈み込む

沢田 勝彦

成徳寺浅間八景霧襖

土屋 春雄

山門に色変へぬ松武田菱

柳瀬 亜湖

秋霖や経塚守る菩薩像

小林 阿久里

人にもいやりを持つことが大切!!

Man Watching #149

- ① 生きがいは?
煮物づくり
- ② おすすめの場所は?
雪窓公園
- ③ 健康の秘訣は?
好ききらいなく食べる
- ④ これからやりたいことは?
これからも友達と仲良くおしゃべりする
- ⑤ 今の御代田町に一言
人口が増えてすごいけど、若い人たちはもっと苦労をするべきだと思う



観光協会ホームページに掲載中!!

みよたん につき

<http://www.miyota.gr.jp/>

みよたんを応援してね!
~御代田町観光キャラクター「みよたん」はゆるキャラグランプリに参加しています~

投票締切日は11月16日(金)までだよ!

ゆるキャラグランプリ「みよたん」のページ
http://www.yurugp.jp/entry_detail.php?id=317
携帯・スマホからはこちらのQRコードを読み取ってね。

【投票の方法】

STEP1 仮登録
投票IDの登録から「メールアドレス」と「パスワード」を登録してください。
<http://www.yurugp.jp/register.php?acflg=init>
※複数メールアドレスをお持ちの方、ぜひともご協力を!!

STEP2 本人確認
登録したメールアドレスあてに「仮登録完了と本登録用ページへのご案内」が送信されます。

STEP3 本登録
本文に記載されているURLをクリックすると本登録が完了します。

STEP4 投票
「みよたん」のページについて
(http://www.yurugp.jp/entry_detail.php?id=317)
登録したIDとパスワードで投票。

一度登録したら、後は毎日「みよたん」のページに行って投票するだけだよ。
ひとつのメールアドレスで1日1回、毎日投票できるから、たくさんアドレスを登録して投票してね!

Let's try English!

Message FROM
Paul Wellington Harris
(中学校AET)
Vol.168



Three-Peat!!!

Last month Miyota Junior High School won the Toushin English Speech contest again for the third time in a row! I was very happy and proud of my students. Seiya Uchibori came in 1st place and Mayu Higashizawa came in 4th place. They both worked hard and did their best. Mayu's speech title was, "If You Never Try, You'll Never Know" and it is about taking a chance to try something new. Seiya's speech title was, "Deadly Weapon" and it is about how what we say can affect others.

The speech contest is not only a challenge for the students, but it is also a challenge for me. Junior high students are, "little adults" but they are also still children, too. They are old enough to think, have their own ideas, and make their own choices. But as kids, sometimes they don't want to make their own choices, or they blame their teachers for what they think is unfair. So even though I want them to work hard and be the best, I have to give them freedom to make their own choices, too. It is a delicate balance. But that is why I love working at Junior High. I can see students grow from children to young adults. And as a teacher, I try my best to help them grow into smart, thinking, responsible adults. It is also why I like the speech contest. It is a chance for me to hear their ideas and help make their ideas into solid thoughts and experiences. It is a learning experience for them, for me, and for their peers. Mayu and Seiya's ideas were very powerful and true. We often applied the messages of their speech to our real life situations—sometimes with humor and sometimes with seriousness.

I think this year was the most stressful time I've had preparing for the speech contest, but also the most fun I've ever had, too! Mayu and Seiya were very fun and funny to work with. I could see them learn more and more about responsibility. Most importantly, I could see them gain confidence in themselves and respect from their peers. I am thankful to them for the experience and I hope they will continue to have confidence and challenge new things in their future.



3回連続です!

先月御代田中学校は、英語スピーチコンテストの東信大会で3度目の入賞を果たしました!とても幸せでしたし、僕は生徒たちを誇りに思います。内堀聖也君は優勝でしたし、東澤真由さんは4位に入賞しました。彼らは一生懸命練習しましたし、ベストを尽くしました。真由さんのスピーチは「試してみなければわからない!」で、何か新しいものに挑戦することについて

スピーチしました。聖也君のスピーチは「死に至らしめる武器」として、私たちの言葉が周りの人たちにどのような影響を及ぼすのかという内容でした。

スピーチコンテストは、生徒たちの挑戦というだけでなく僕にとっても挑戦です。中学生は「小さな大人」ですが、まだ子どもでもあります。彼らは自分たちの考えを持ち、それぞれ選択をします。しかし、子どもの面で見れば、自分たちで選択はしたくないし、教師にフェアでないと不平を言うこともあります。ですから、もちろん彼らにはベストを尽くすために一生懸命になって欲しいのですが、彼らの選択に任せるという自由も与えなければなりません。とても微妙なバランスが必要です。子どもから青年に成長していく過程が見られるので、中学生を教えるのが好きです。そして、一教師として、僕は精一杯彼らが思慮深く、責任感のある大人として成長する手助けをしています。だからこそスピーチコンテストも好きなのです。それは彼らの考えを聞いて固まった考えや経験とする助けとなる良い機会です。これは彼らや僕、そして同年代の子たちにとってとてもためになる経験です。真由さんと聖也君の考えは非常に強くて、真実です。僕たちはしばしばリアルな生活の場においてスピーチを応用します。

今回のスピーチコンテストはとてもストレスが溜まりましたが、今までで一番楽しくもありました!真由さんと聖也君は、とても楽しく一緒に練習して面白かったです。彼らが責任ということについて学んでいるのがよくわかりました。一番重要なのは彼らが自信をつけて、同年代の子たちから尊敬されているのがわかりました。彼らにくれた今回の経験に感謝して、彼らがこれから自信を持って新しいことに挑戦してくれるといいなあと思います。